

DOMESTIC FIELD WORK



国内
フィールド
ワーク

INTERVIEW
01

フィールドワークで、
留学生と共に京都へ。

わたしが国内フィールドワークを履修したのは、留学しなくても1年生のうちに留学生と関われることに魅力を感じたからです。わたしがおこなったフィールドワークは、2人の留学生と2人の学生がチームとなり、京都へ1泊2日で行くスタディトリップでした。このフィールドワークでは、留学生と英語でやりとりをしました。わたしは英語があまり得意ではなかったため、留学生と話すために、授業で学んでいるようなきれいな英語ではなく、単語をなんとか駆使して話し

ましたが、それでも通じることを実感できました。フィールドワークをきっかけに、留学生たちと仲良くなれてうれしかったです。フィールドワークは、英語が苦手な人にこそ受けてほしいと思います。授業で学んだような英語で話さないといけないんじゃないかと、英語に抵抗感がある人も、それが吹切れるような体験ができるので、これから英語を学んでいくための気持ちがきっと変わると思います。

辻 彩沙佳 国際文化学科4年

INTERNATIONAL COOPERATION STUDY TOUR



国際協力
スタディ
ツアー

INTERVIEW
02

インドネシア少数民族の、
実情を学ぶ。

国際文化学部にいるNGO活動をしていた先生や、国連で働いていた先生の講義を受けて、自分も成長したいと思い、この大学への進学を決めました。国際協力スタディツアーに参加したのは、幼少の頃住んでいたインドで貧困の人たちをたくさん見て、貧困に興味を持ち、何か助けになりたいと思ったからです。インドネシアで2週間の語学留学の後、2週間のフィールドワークをおこないました。現地で聞いた、紛争の当事者の声や津波に遭った被害者の声は、今まで僕が経験したことのないような悲惨な状況ばかりで、複雑な気持ち

になりました。フィールドワークに参加した後、学外のボランティア団体に参加しました。これからは、頻繁に現地に行くことは難しいかもしれないけど、寄付などは積極的におこなっていきたくいです。国際協力スタディツアーは、旅行では得られない感情や風景と出会うことができ、いかに今の日本の生活が豊かで幸せであるかを感じられるのでぜひ積極的に参加してほしいです。

村松 優希 国際協力学科*4年

*2021年より国際文化学科に統合

国際文化を学ぶとは

学びのPOINT 01

英語+Oneの多言語習得
英語を学ぶだけが世界を知る近道ではない!

国際文化を理解するためのツールとして、語学を学習することは重要です。国際文化学部では、英語に加え第2外国語の学習に力を入れています。学びの対象となる国・地域・エリアは世界中に広がっています。第2外国語の学習を通じて、多様な文化や国際問題を理解することを目指します。

+Oneの多言語

フランス語

ドイツ語

スペイン語

中国語

さらに

韓国語

フィリピン語

インドネシア語

の履修も可能!



学びのPOINT 02

学内で国際交流
GLOBAL LINKSで留学生と異文化交流!

名古屋キャンパスたいほうに設置のGLOBAL LINKSでは、ネイティブ講師が常駐。また、世界各国から名古屋学院大学に留学している多くの留学生がいます。GLOBAL LINKSでは、留学生と日本人学生が交流することができる多様なイベントも開催。留学にいかなくても、異文化交流をすることができます。



例えば… アジアン・フード・フェス

アジア圏各国の食文化に触れられるごはんフェス。タイ、インドネシア、フィリピン、韓国、台湾からの留学生に協力していただき、事前準備。当日は、様々な料理を食べながら留学生と日本人学生でコミュニケーションをとりました!

NGU 名古屋学院大学

2022
FACULTY GUIDE



いつもと違う扉から
世界をひらいてみる。

NEWS

新・3専攻制
スタート

FACULTY OF
—
INTERCULTURAL STUDIES

国際文化学部

グローバル文化専攻 / 国際日本学専攻 / 国際協力・共生専攻

NGU 名古屋学院大学

入学センター

052-678-4088

T456-8612
名古屋市熱田区熱田西町1番25号
http://www.ngu.jp/
E-mail: nyugaku@ngu.ac.jp

[経済学部] 経済学科
[現代社会学部] 現代社会学科
[商学部] 商学科 / 経営情報学科
[法学部] 法学科

[外国語学部] 英語語学科
[国際文化学部] 国際文化学科
グローバル文化専攻、国際日本学専攻、
国際協力・共生専攻

[スポーツ健康学部] スポーツ健康学科 / こどもスポーツ教育学科
[リハビリテーション学部] 理学療法学科



GLOBAL CULTURE STUDIES MAJOR

グローバル文化専攻

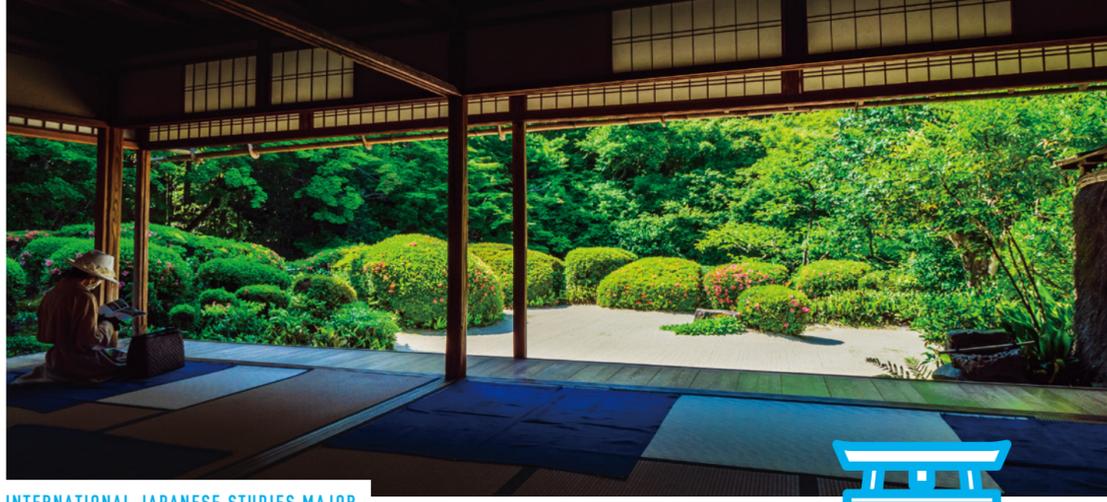


専攻の特色

グローバル文化専攻は、世界的な視野からヨーロッパやアジアなどの国や地域を比較することで、海外の文化に関する知見を広めます。「比較文化社会論」「英米文学史」「欧米文化総論」「アジア地域研究」「現代中国事情」などの科目で、欧米やアジアなど国・エリアを幅広く学ぶことを通じて、それぞれの文化に対する理解を深めるとともに、様々な価値観に柔軟に向き合える国際感覚を養い、広く世界を複眼的に見通すことのできるグローバル人材の育成を目指します。

専攻ならではの魅力、学びの楽しさ

グローバル文化専攻は、①コミュニケーション②地域理解③国際文化の3分野から世界を学びます。また、「知っていること」を「体験したこと」に変え、講義から学んだ異文化に実際に触れることのできる豊富な海外留学制度もあります。実践的な学びを体感することで、海外の文化を経験でき、グローバルな文化理解につながります。



INTERNATIONAL JAPANESE STUDIES MAJOR

国際日本学専攻



専攻の特色

「日本を学び、世界を学ぶ!」。この専攻では、グローバルな視野を意識しつつ、日本の歴史や伝統文化を理解し、海外で日本文化を紹介したり、海外からの観光客などに日本の文化を紹介することができる知識や能力の獲得を目指します。そのために必要な言語(外国語と日本語)運用能力を備え、文化・歴史・社会・政治・経済などの広範な知識を身に付けます。日本の歴史と海外の歴史の関わり合いや、日本の文化とそのルーツを知ることで、真の国際性を身に付け、グローバル社会において日本の魅力を発信しましょう。

専攻ならではの魅力、学びの楽しさ

知っているようで実は学問的に考えたことがなかった「日本」について、国際的観点から研究するのが「国際日本学専攻」です。日本文化の特質を「日本文化論」で学び、その後「日本語学概論」「日本の国宝・文化財」「日本地域史論」「比較行動学」などの科目で言語・歴史・人間を深く掘り下げます。留学生と旅をしながら日本を紹介する「フィールドワーク」などの人気科目もあります。

PICKUP CLASS

日本アジア交流史

鹿毛 敏夫教授



日本・日本人の歴史とルーツを考えるうえで、「アジア」との交流と相互影響の考察は欠かせません。この授業では、特に室町・戦国・江戸の武士(「サムライ」)の時代における日本とアジア諸国・諸地域との交流の歴史について、当時の古文書や発掘遺物などの史料を分析しながら、東アジアから東南アジアにまたがる文化圏の広がりの中で考察します。

想定される進路

- 観光・旅行・航空・ホテルなど
日本文化を海外に紹介する企業
- 来日外国人への対応
(日本語支援や日本文化の
紹介その他)などに関わる企業
- 貿易・流通などに
関わる企業
- 海外展開する国内の企業、
行政機関や一般企業の
外国人対応部署など



INTERNATIONAL COOPERATION AND INTERCULTURAL COHESION STUDIES MAJOR

国際協力・共生専攻



専攻の特色

世界中の人びとが協力し、ともに生きる持続可能な社会を実現する——それが国際協力・共生専攻の理念です。グローバル化がますます進む現在、わたしたちは国際社会と無関係に暮らすことはできません。人びとの国境を越えた移動がさらに活発になる中、異なる宗教や文化を理解する重要性も高まっています。専攻では、国際社会における文化的・歴史的・社会的・政治的・経済的な対立の構造を理解し、その解決のための行動の在り方を考察しながら、多文化共生社会の実現を目指します。

専攻ならではの魅力、学びの楽しさ

なぜ戦争がなくなるのか。なぜ貧困や飢えに苦しむ人びとが存在するのか。なぜ肌の色や宗教などで差別や偏見が生まれるのか。教室の中だけでなく、大学の外へ、ときには海外まで飛び出し、さまざまな人びとと出会いながら、多くの問いへの答えを探してみませんか。海外や日本にフィールドを持つ教員は、国際協力スタディツアーをはじめとし、学びの場をたくさん準備しています。

PICKUP CLASS

国際平和学

佐伯 奈津子准教授



平和学は、戦争・紛争・テロだけでなく、差別や貧困、格差、環境破壊などあらゆる暴力をなくし、公正な社会や平等な権利の実現を目指す学問です。授業では、世界各地の暴力の原因・構造や、わたしたちとの関係を学びます。遠く離れていたとしても、マイノリティや弱者のおかれている状況に「想像力」と「共感性」を働かせてみる。一人ひとりが分断を乗り越え、他者とつながるために何が考えれば、世界は今より平和になるはず。です。

想定される進路

- 海外展開や
海外に拠点を持つ
国内企業
- JICA青年海外協力隊、
国際・国連機関、
NPO・NGO
- 自治体の国際交流協会、
国内外の日本語学校の教員、
通訳、
行政書士